

《社会福祉法人 仁育会 経営理念》

地域との連帯を深め信頼される社会福祉施設としての確立と、安心と安全を守るゆとりある生活支援を目指します。

《青梅療育院運営方針》

1. 利用者から安心されるサービスの提供
1. 生活の安全を守るサービスの提供
1. 要介護度に応じた適切なサービスの提供

9月の行事予定

- 4日（月）誕生会
- 8日（金）選択食
- 19日（火）2階理美容
- 21日（木）敬老会
- 26日（火）3階理美容

29日（金）選択食



10月の行事予定

- 5日（木）誕生会
- 13日（金）選択食
- 17日（火）2階理美容
- 22日（日）運動会
- 24日（火）3階理美容

27日（金）選択食



HAPPY BIRTHDAY

10月は5名の方がお誕生日を迎えられます。おめでとうございます。

- ・秋道定千代 様
- ・梅田クラエ 様
- ・太田 二郎 様
- ・中村 弘 様
- ・野口 モト 様



面会時のお願い



面会へのご協力ありがとうございます。
現在、新型コロナウイルスの感染状況は全国的に増加傾向にあります。
面会にお越しの際は下記の徹底をお願いいたします。
★体調の良い時に ★検温・手指消毒後に ★必ずサージカルマスク着用で
★1回3名様まで ★15分以内で ★飲食は不可です。
★お子様にもマスク着用でお願いします。

生活の安全を守る介護支援

人間は生きている限り何らかの喜怒哀楽を感じながら生活しています。
その中でも「喜び」は人生で一番幸せを感じるときであり、「怒」は感情を持つ人間であれば誰もが大小の差があったとしても経験します。「哀」は悲しみと共に感情の落ち込みにもつながり、「楽」は心身をリラックスさせる精神的解放感を味わうものと言われています。

それぞれに個人差があっても無欲・無感の人はいないはずですから、多少なりともその人の人生において何らか体感を味わいながら生活しています。

介護支援業務においては特に人権の尊重が重視されており、利用者様に対してどれだけの人権が守られているかが問われます。これは介護施設に従事するすべての職員が絶対に守らなければならない規則として定められているからです。

利用者様の中には高齢化と認知症で、具体的な要求の意思表示が難しい方もおり、どちらかと言うと職員の一方向的な判断に片寄りがちになりやすい場合が多くなってしまったため、なるべくコミュニケーションによって、少しでも利用者様のご要望に添えるよう徹底を図っております。

7月にご家族の皆様をお願いいたしましたアンケートでも、多くの皆様から「いつも大変お世話になっています。よろしくお願いします。」というご返事を頂きました。非常にありがたく感謝申し上げますが、これはむしろ施設を信じてお任せしますという意味ではなく、「介護に落ち度がないようにしっかりと頼みます。」という激励の意味が含まれていると理解して、更に

適正かつ安全な業務に取り組んでまいります。

確かに介護の仕事は気を抜けない責任があり、失敗が許されない仕事であるため、責任の重さを自覚しながら努めなければなりません。

利用者様の大部分が何らかの疾患を持っていますので、いつまでも健康な状態が続くとは限りません。利用者様の中には精神的苦痛を伴うような疾病と闘いながら生活されている方もおり、リハビリによって少しでも痛みを緩和させてあげることも、大切な介護支援であると考えております。

利用者様には今まで歩んでこられた人生を、残された尊い日々の生活において、人間として有意義な生活を過ごされるように、適切な支援をおこなっていくことが使命であると思い、これからも日々の介護業務の安全実施に努めてまいります。

つめた〜い ジェラート食べに行きました！

今年は残暑厳しく、冷たいジェラートでリフレッシュ！！



夏だ！ スイカ割りだ！



納涼模擬店開催！！



8月27日（日）納涼模擬店を開催しました！！今年は職員お手製のパチンコゲームや輪投げで盛り上がり、沢山の景品もご用意しました！！冷たいかき氷や、厨房職員お手製のじゃがバターもとても好評でした(^_^)/

